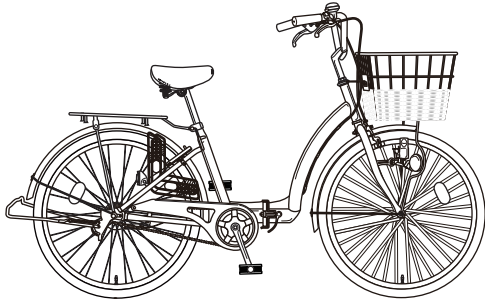


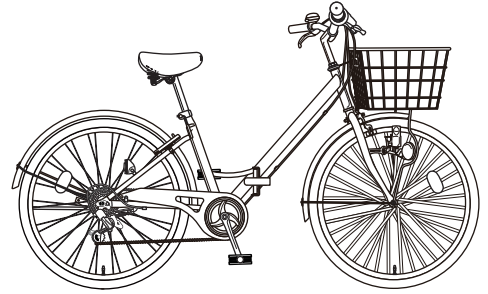
**AIJYU  
CYCLE**

シティサイクル - TSシリーズ -

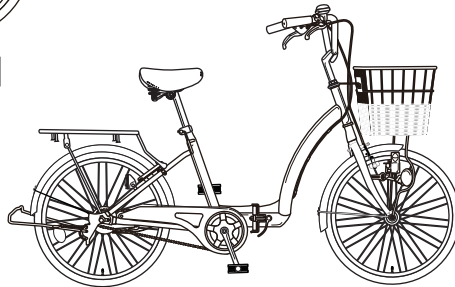
*Three Stone*  
*Passepied* - パスピエ -



【TS26 (26インチ)】



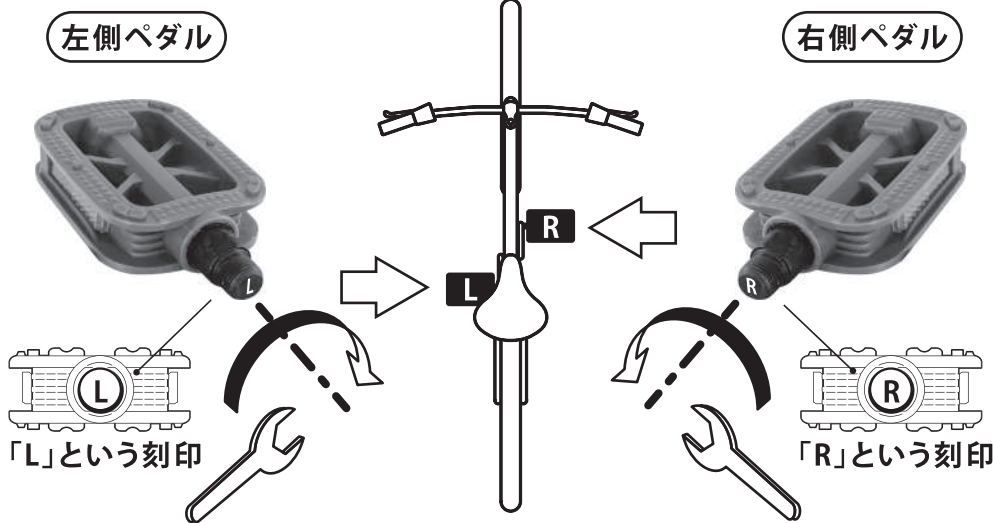
【TS26B (26インチ)】



【TS20M (20インチ)】

間違いやすい部分 ① ペダルの取付け

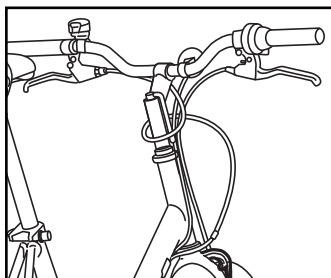
左足を乗せる方の左用ペダル(L)は、逆ネジ方向(時計と逆方向)に回して取り付けて下さい。



右足を乗せる方の右用ペダル(R)は、正ネジ方向(時計方向)に回して取り付けて下さい。

※ペダルを取り付ける際は、傾げて取り付けないようにご注意ください。

間違いやすい部分 ② ハンドルの取付け



- ブレーキの配線がフレームやハンドルポストにからまっていませんか？
- 前輪タイヤの前後が逆、もしくは360度回転していませんか？

ブレーキ配線の取回しが適切でないと、ブレーキが効いたままになったり、ハンドルが取り付け出来なかったりします。

ハンドル取付け時は、フレームなどに配線がからまないようにハンドルと前輪タイヤの向きや回転を確認し、ブレーキワイヤーが適切に取回しているか確認して下さい。

※ブレーキ配線が巻きついた状態



## ！まずはじめにお読み下さい。

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

自転車の性能を維持し、長く安全にお乗りいただくためには、自転車の正しいご理解とご使用が必要になります。また事故や怪我などを防止するためにも、本書をよくお読みいただき適切なご利用をお願いいたします。

徹底した品質管理のもと生産をしていますが、輸送中の振動や折りたたんだ状態での輸送のため、ブレーキワイヤーやネジ・ナットなど緩みなどが生じる場合がございます。そのため正しく組立をおこない、適切な動作をするための調整、安全点検を十分におこなってからご使用下さい。お客様にて対応が困難な場合は、最寄りの自転車整備店にて対応をご依頼して下さい(有料)。

誤った組立や調整での破損や事故などの対応は、保証対象外となりますので十分にご注意下さい。

ご不明な点は、ご購入いただいた販売店にお問合せ下さい。

### ご使用上のお願い

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使い下さい。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2~6ページ)を必ずお読み下さい。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などを記入して、取扱説明書とともに大切に保管して下さい。
- お子様のご使用の場合、大人の方が取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導下さい。
- この自転車は、近隣走行を目的とした日常生活用として設計されています。競技用・業務用としてご使用にならないで下さい。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお願いいたします。
- 傷害保険と賠償責任保険が付帯されたTSマークの加入をお勧めします。自転車安全整備店(TSマーク取扱店)で点検整備を行い、基準に適合した自転車であることを確認したうえで貼ることが出来ます。
- 防犯登録の申請手続きを行って下さい。(法令で義務付けられています。)  
※防犯登録に必要な【販売証明書】の発行は、ご購入いただいた販売店にご依頼下さい。  
※TSマーク及び防犯登録の費用や内容につきましては、自転車安全整備店(TSマーク取扱店)にご相談下さい。
- この自転車に幼児用座席を取付けることはできません。

### 外箱の保管について

お届け時の外箱(ダンボール箱)は、初期不良対応などの返送時に備えて、到着後一週間は保管下さい。万が一捨ててしまった場合は、初期不良の場合でも配送用のダンボールは有料となります。(※ダンボール箱のご購入は、3,000円)

梱包されていない自転車は、現在宅配便にて配送出来ないため、厳守のほどお願いいたします。

## 目次

### ● 乗るまえに

- 安全上のご注意 ..... 2
- 各部のなまえ ..... 7
- TSシリーズの主な特徴 ..... 8
- 乗るまえの準備 ..... 9
- 乗るまえの点検 ..... 14
- 乗るまえの調整 ..... 16
- 正しい取扱い方法 ..... 20

- 本体折りたたみ手順 ..... 22
- 必要なとき
  - お手入れ/注油について ..... 23
  - 定期点検 ..... 24
- 防犯登録について ..... 25
- こんな時は・・・ ..... 26
- 購入情報メモ ..... 27

### 図中のイラストについて

本書は、THREE STONE [Passepie] TSシリーズ (TS26及びTS26B、TS20M) の共通取扱い説明書ですが、差異の無い説明箇所についてはTS26のイラストを使用しています。あらかじめご了承下さい。

# 安全上のご注意（1）

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくこと。  
※誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

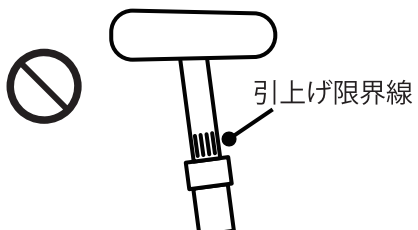
気をつけていただく内容です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

## 怪我をせずに、他の人にも迷惑をかけないために次のことを守りましょう！

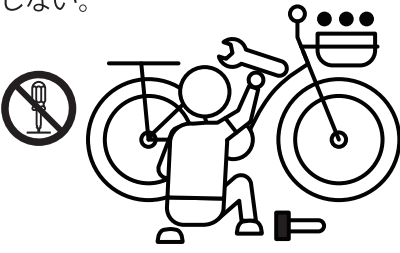
### 警告

- サドル・ハンドルの高さは、引き上げ限界線が見える状態では乗らない。



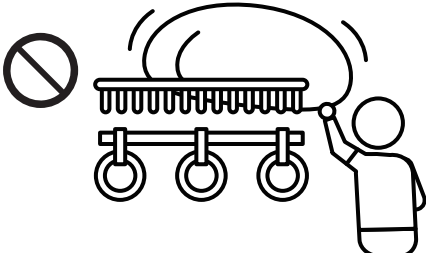
シートポストが折れたり、段差に引っ掛けて転倒による怪我のおそれがあります。

- 改造や分解、また指定以外の注油はしない。



部品の破損や、ブレーキが効かなくなって、転倒や事故による怪我のおそれがあります。

- 電車などの棚に載せない。

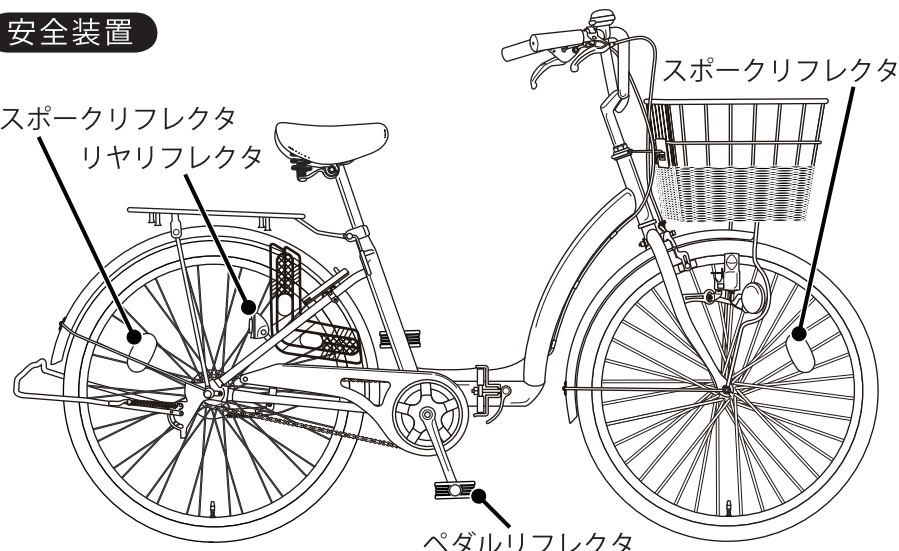
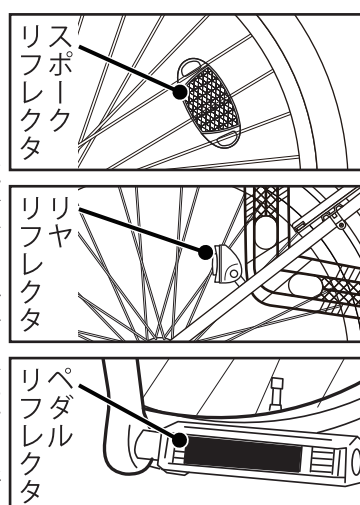


落下して、怪我の恐れがあります。  
※他の人に迷惑にならないように足元や車内の隅に置いて下さい。

### 公共の交通機関（列車、バス、地下鉄など）を利用される場合のお願い

- 交通機関の係員の指示に従って下さい。
- できるだけ安定した床面において下さい。
- 他の方の邪魔にならないように気をつけて下さい。
- 落下すると危険なので、網棚には載せないで下さい。


### 安全装置

スポークリフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。（リヤリフレクタが破損した状態での夜間乗車は法令違反になります）


### 警告

- 安全装置は取り外さないで下さい。



外したまま乗ると、事故発生の原因になり、怪我などの恐れがあります。

- バックステップなどの突出物は装着しないで下さい。



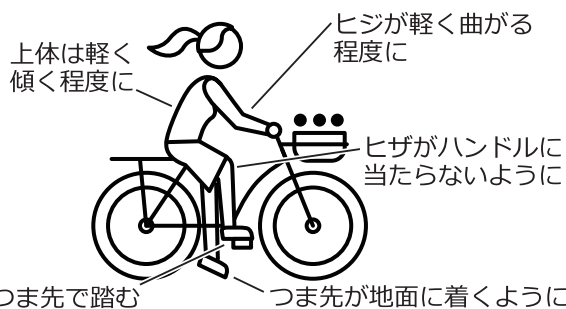
歩行者などに、危害を与える恐れがあります。

# 安全上のご注意（2）

## 乗る前に

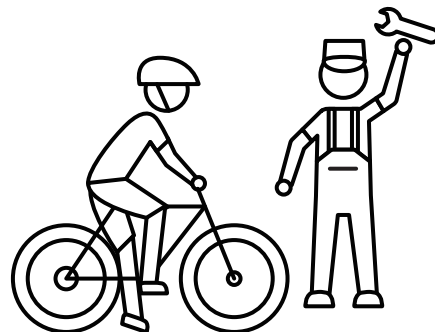
まず体に合わせて下さい

- 図を参考に調整して下さい。
- 操作して確認して下さい。
  - ① 円滑なペダリングができる。
  - ② ブレーキや変速機（ある場合）が確実に操作できる。
  - ③ ハンドル操作が容易にできる。



必ず点検して下さい

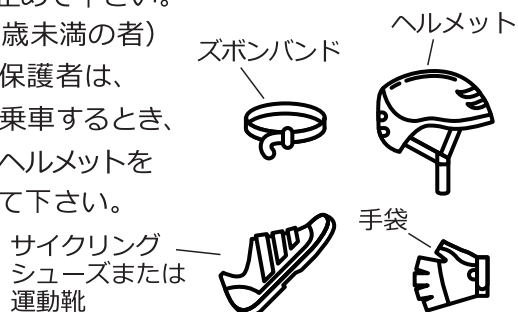
- 必ず、取扱説明書をよく読んで点検して下さい。
- わからないときは販売店に相談して下さい。
- 未組立及び未調整の自転車は使用しないで下さい。



安全な服装で乗って下さい

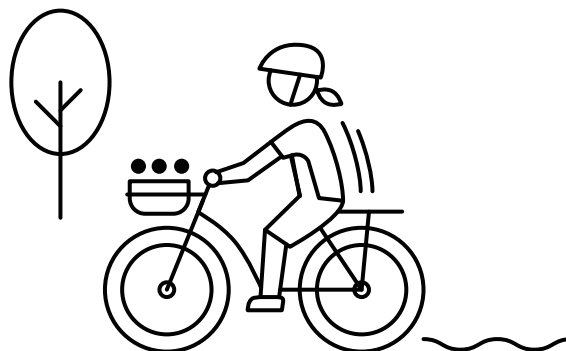
（車輪に巻き込まれやすい服装はしない）

- スポンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めて下さい。
- 児童（13歳未満の者）
  - ・ 幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせて下さい。



乗る練習は必ず行って下さい

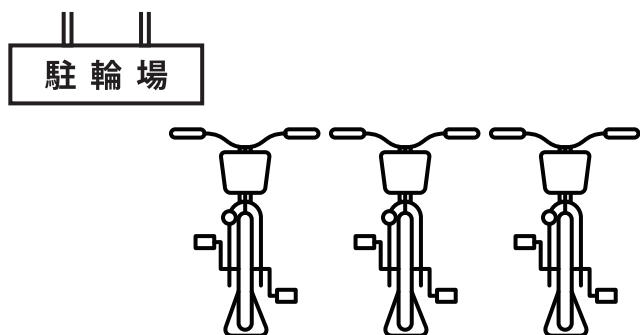
- 練習を空地や公園など安全な場所で、行って下さい。
- よく練習してから一般道路でお乗り下さい。



## 乗ったあと

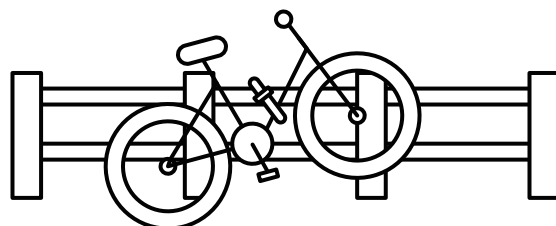
決められた場所に駐輪して下さい

- 駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
- 盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

- 自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



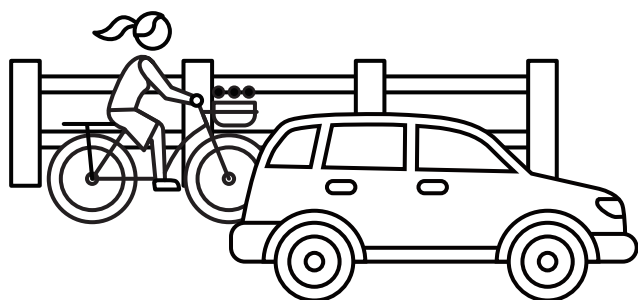
# 安全上のご注意（3）

## 交通ルールを守る

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

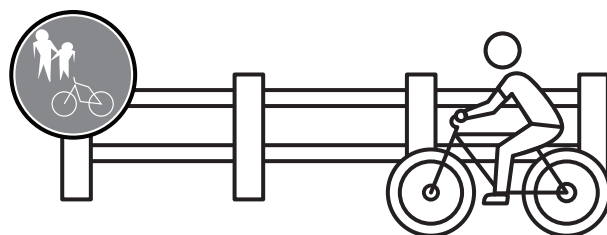
自転車は、車道通行が原則です

- 歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



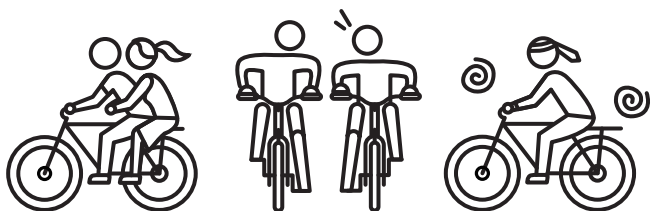
次の様な場合は、歩道通行ができます  
(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)

- 自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
- 運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
- 車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。



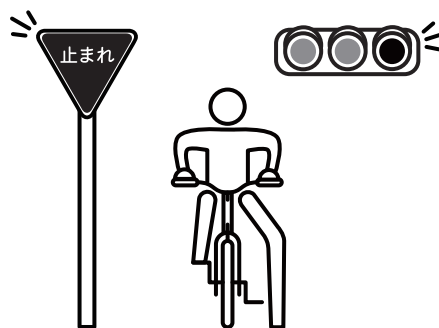
二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

- 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
- 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
- 飲酒運転は禁止です。



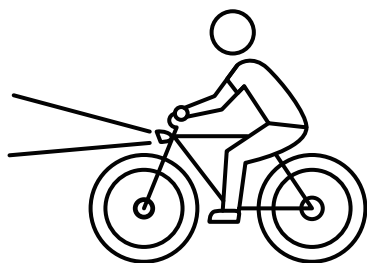
交差点では一時停止と安全確認を

- 一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
- 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

- 夜の無灯火運転は交通違反です。
- 暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はしない

- ヘッドフォンを使用しながらの運転。
- 傘さし運転。
- 携帯電話を操作しながらの運転。



# 安全上のご注意（４）

## 交通ルールを守る

道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけ覚えておきましょう。

- **見通しの悪い交差点や、狭い道から広い道にでるとき**  
一時停止して左右の安全を確認して下さい。
- **子供の飛び出しに注意**  
公園や学校のあるところでは子供の飛び出しに十分に注意して下さい。
- **視界の悪いとき**  
必ず LED ライトをつけてください。  
LED ライトは早めにつけましょう。
- **停止するとき**  
右腕を斜め下に出して停止して下さい。
- **左折するとき**  
右腕のひじを直角にあげ、速度を落として曲がって下さい。
- **信号機のない交差点で右折するとき**  
右腕を水平にし、手のひらを下にして、向こう側まで進んでから右折して下さい。
- **交差点では左に曲がる車に注意**  
左に曲がる車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので十分に注意して下さい。
- **車道を走行するとき**  
車道の左側を必ず一列で走行して下さい。
- **歩道を通行できるところでは**  
歩道者優先で、車道寄りを徐行して下さい。
- **車のすぐ横を走るとき**  
急にドアが開いたり、車の陰から人が出てきたりすることがありますので十分に注意して下さい。
- **車のすぐ後ろを走るとき**  
前方が見えにくかったり、車が急に止まったり、曲がったりすることがありますので十分に注意して下さい。  
安全な距離を保って下さい。
- **踏切では**  
一時停止して左右の安全を確認して下さい。

## 道路標識を守りましょう

また地域の条例や法律にしたがい、安全な運転を心がけるようにしましょう。



## 自転車運転者講習制度について

講習の対象となる危険行為とは・・・  
信号無視・一時不停止・酒酔い運転・ブレーキ不良運転など・・・

- 自転車運転中危険なルール違反をくり返すと ⇒ 自転車運転者講習を受けることになります。
  - 信号無視や一時停止など14項目の運転行為をして3年以内に2回以上摘発された自転車運転者は、公安委員会の命令を受けてから3ヶ月以内の指定された期間内に講習を受けなければ5万円以下の罰金が課せられます。
- ① 信号無視
  - ② 「歩行者道路」など自転車の運行が禁止されている場所を通行すること
  - ③ 自転車の通行が認められている歩行者道路を通行する際に歩行者に注意を払わなかったり徐行しなかったりすること
  - ④ 歩道を通行したり、車道の右側を通行すること
  - ⑤ 路側帯で歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行すること
  - ⑥ 遮断機が閉じていたり、閉じようとしていたり、または警報機が鳴っている時に踏切に立ち入ること
  - ⑦ 交差点で、通行する車両の安全な進行を妨げること
  - ⑧ 信号の無い交差点で左から来る車両の通行を妨害すること
  - ⑨ 環状交差点の通行を妨害したり、徐行をしないことなど
  - ⑩ 一時停止標識などを無視して交差点に進入したりすることなど
  - ⑪ 歩道の車道よりの部分などを徐行しなかったり歩行者の通行を妨害しそうなのに一時停止しないなど
  - ⑫ ブレーキがなかったりブレーキ性能が不良の自転車で走行すること
  - ⑬ 酒酔い運転
  - ⑭ ハンドルやブレーキなどを確実に操作せず、また、他人に危害を及ぼすような速度や方法で運転すること（傘さし、スマホ運転も含まれます）

# 安全上のご注意（5）

## 転倒事故を防ぐために

### こんな時

- 雨・風・雪のひどいときは乗らない



バランスを崩し、転倒による怪我のおそれがあります。

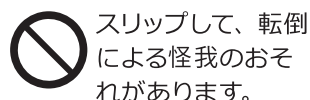
- 合図以外は、ハンドルから手を離さない



バランスがとりにくく、転倒による怪我のおそれがあります。

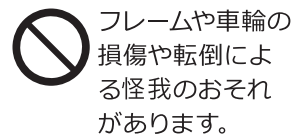
### こんな場所

- 滑りやすいところでは乗らない  
(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



- 降りて、押して歩いて下さい。

- 凹凸の激しいところを走らない  
(歩道の段差や、溝など)



- 降りて、押して歩いて下さい。

### こんな乗り方

- 巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



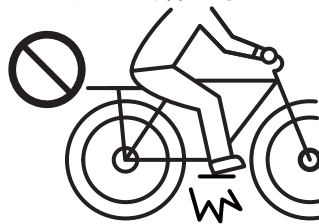
車輪やギヤに巻き込まれ、転倒による怪我のおそれがあります。

- かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒による怪我のおそれがあります。

- 土踏まずやかかとでペダルを踏まない



カーブでつま先が前車輪あたり転倒による怪我のおそれがあります。

- 滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



ペダルから足が外れ、転倒による怪我のおそれがあります。

- 手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない



荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒による怪我のおそれがあります。

- カーブで曲がる側のペダルを下げない



ペダルが地面と接触し、転倒による怪我のおそれがあります。

### こんな使い方

- 走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



転倒による怪我のおそれがあります。

- スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない



車輪に巻き込まれて転倒による怪我のおそれがあります。

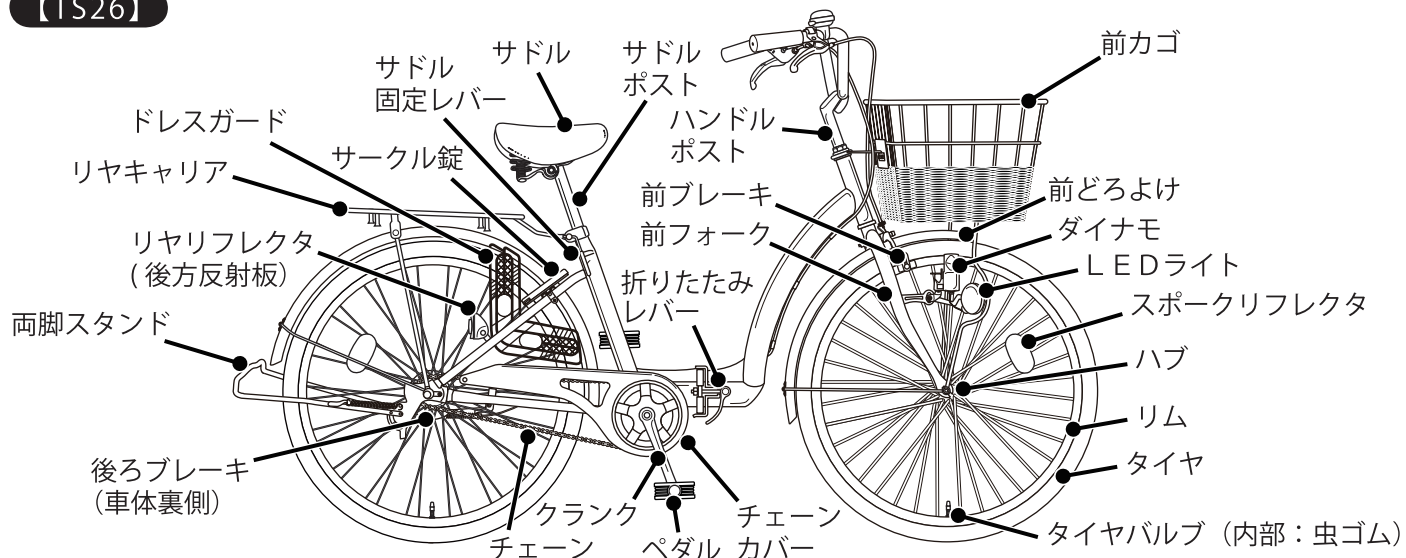


# 各部のなまえ (1)

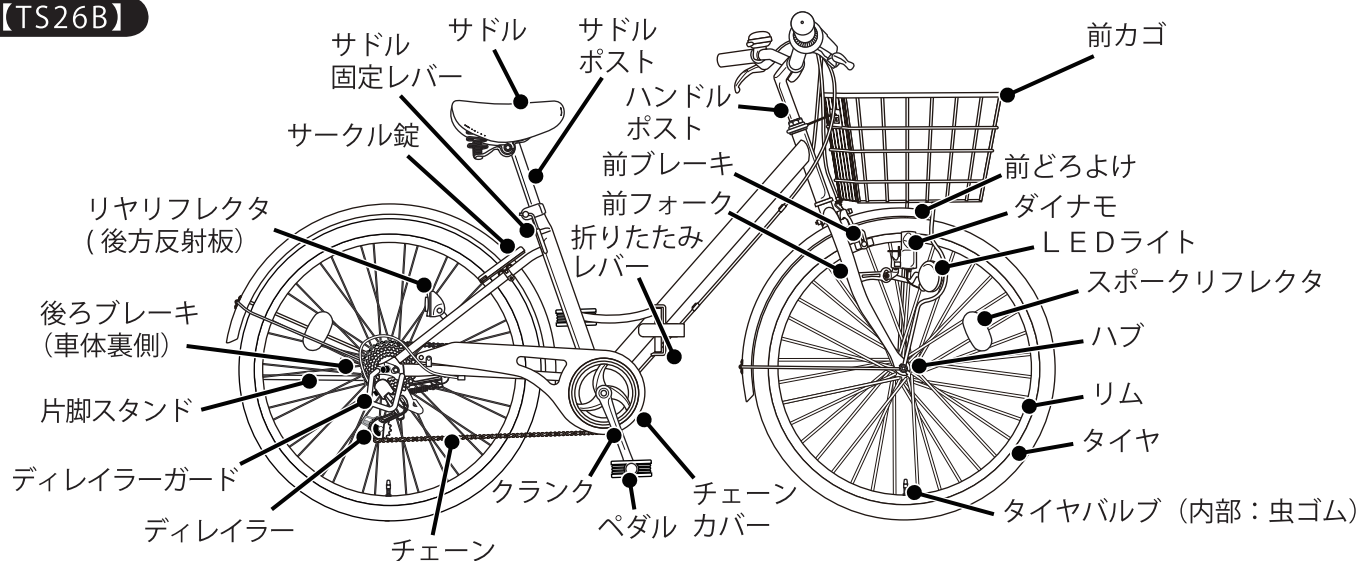
※イラストはイメージ図を使用しています。形状やデザインなど、ご購入いただいた自転車と異なる場合があります。

## 全体図

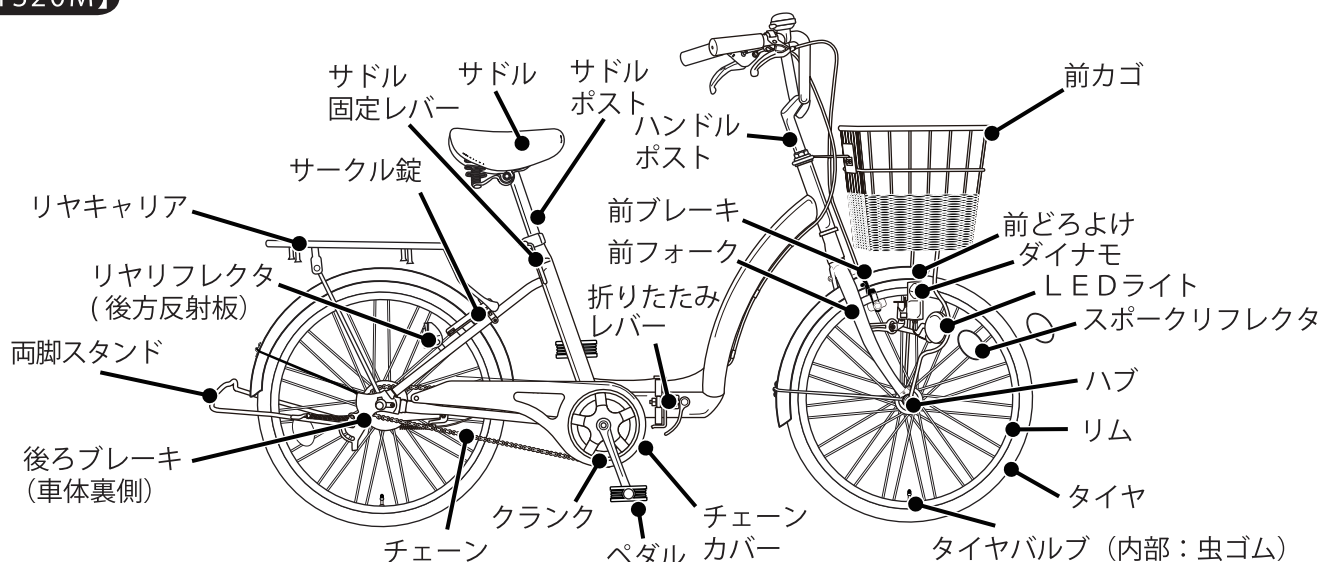
### 【TS26】



### 【TS26B】



### 【TS20M】

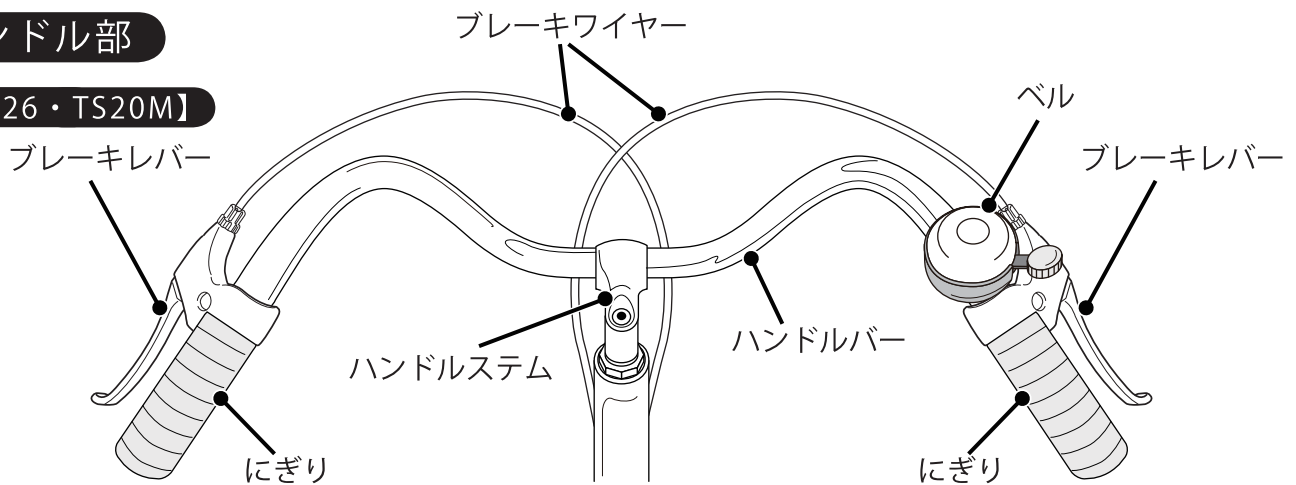


# 各部のなまえ (2)

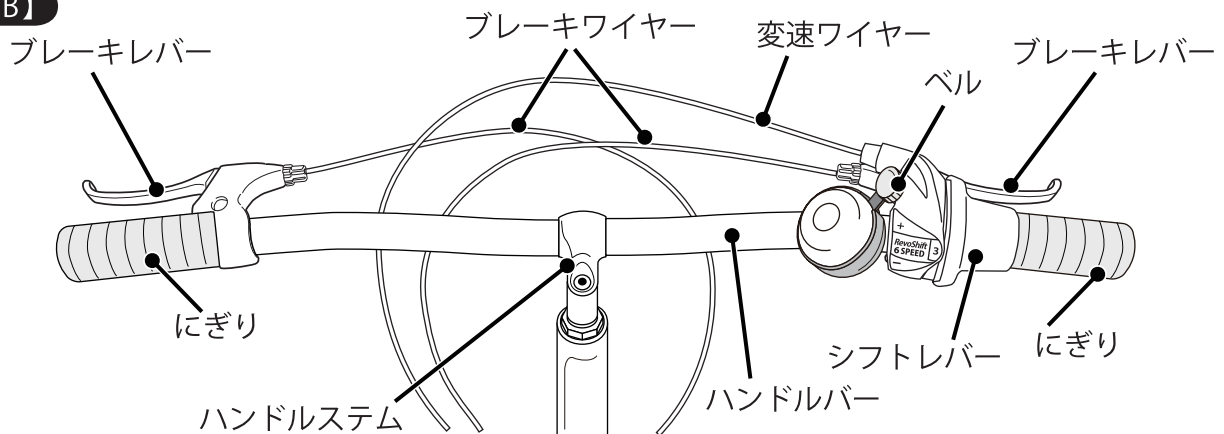
※イラストはイメージ図を使用しています。形状やデザインなど、ご購入いただいた自転車と異なる場合があります。

## ハンドル部

### 【TS26・TS20M】



### 【TS26B】

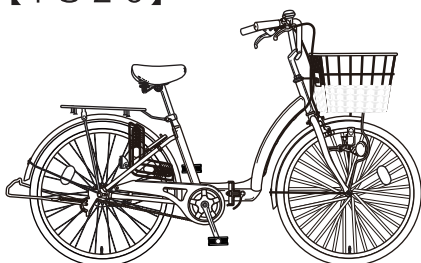


## TS26とTS26Bの主な特徴

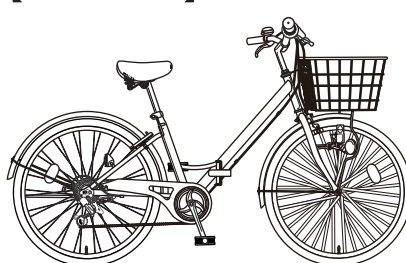
項目	TS26	TS26B	TS20M
タイヤサイズ	26インチ	26インチ	20インチ
ハンドルタイプ	セミアップハンドル	フラットハンドル	セミアップハンドル
カゴ形状	ラタン調バスケット	ワイヤーバスケット	ラタン調バスケット
フレームレバー	下に折りたたみ可能	横に折りたたみ可能	下に折りたたみ可能
変速機	変速機無し	シマノ6段変速機	変速機無し
ドレスガード	有り	無し	無し
荷台	有り (クラス25)	無し	有り (クラス25)
スタンドタイプ	両脚スタンド	1本スタンド	両脚スタンド

※仕様改善のため、変更になる場合があります。

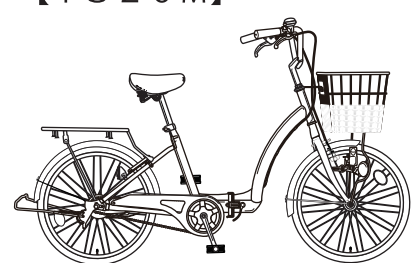
### 【TS26】



### 【TS26B】



### 【TS20M】



# 乗るまえの準備 (1) 組立手順

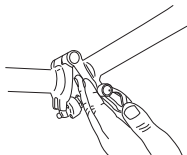
## 警告

●箱から自転車を出す際には、大人の方が二人で作業をする



落下させたり、破損・変形をするおそれがあります。

●メインパイプのジョイント部分を持って開閉しない



指や手をはさんで怪我をするおそれがあります。

●折りたたみレバーで確実にフレームを固定して走行する

開いたままだと転倒による怪我のおそれがあります。

### お願い

ダンボール箱は、初期不良対応や万が一修理を依頼するのに備えて、最低一週間は捨てないで下さい。

※ダンボールを捨ててしまった場合、初期不良の場合でも配送用のダンボールは有料になります。

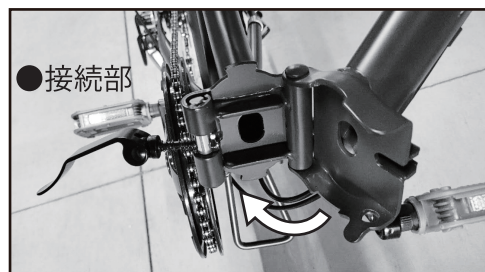
## フレームの組立

※先に、自転車についている緩衝材や、結束バンドなどをはずして下さい。

① 二つ折りになっている自転車を開き、接続部をしっかりと合わせて、仮固定して下さい。

(指などを挟まないようにご注意ください)

※ロットによって折りたたみレバーが本体側に入り込んでいる場合がございます。その場合は、折りたたみレバーを外側へ取り出してから自転車を開いてください。



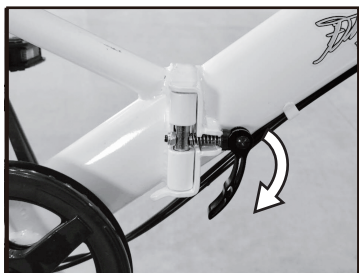
② 折りたたみレバーを回して、右図のように、反対側の台座のスリット部分にしっかりと乗るように押し込んで下さい。



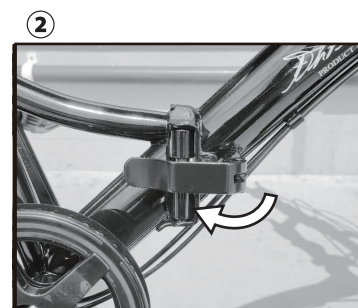
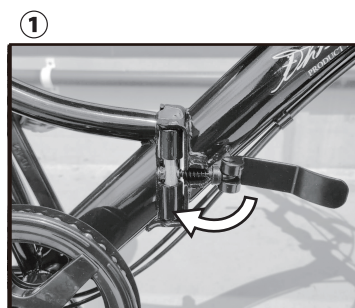
③ 折りたたみレバーを手前に押し倒します。

※最後に、フレームがしっかりと固定されているか確認して下さい。

**【TS26・TS20M】** レバーを下に倒して下さい。



**【TS26B】** レバーを横に倒して下さい。



### 確認

レバーを倒した時、レバーが緩い又はきつい場合、レバー稼動部根元の六角ナットを締める・緩めることで調整することが出来ます。



# 乗るまえの準備 (2) 組立手順

## ⚠ 警告

● ハンドルの締付を確認せずに乗らない

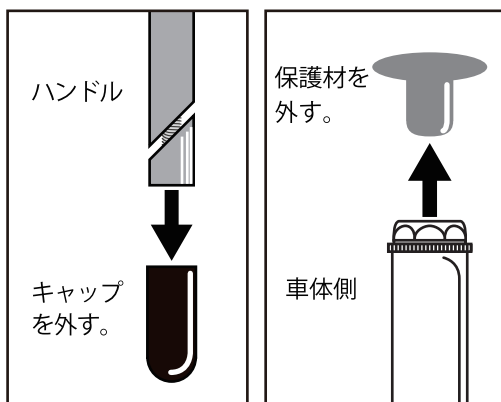
⊘ 走行中、ハンドルが折れ曲がり、転倒による怪我のおそれがあります。

● ハンドルポストは必ず締め付けた状態で走行する

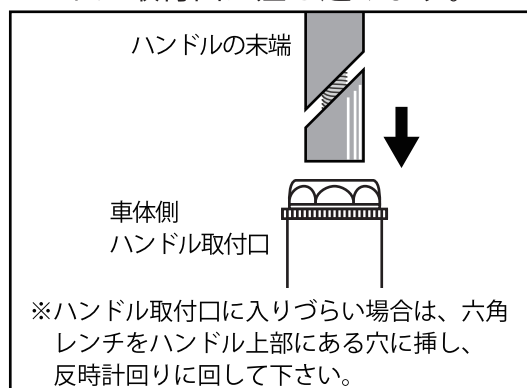
⚠ 走行中、ハンドルがゆるみ、転倒による怪我のおそれがあります。

## ハンドルの組立

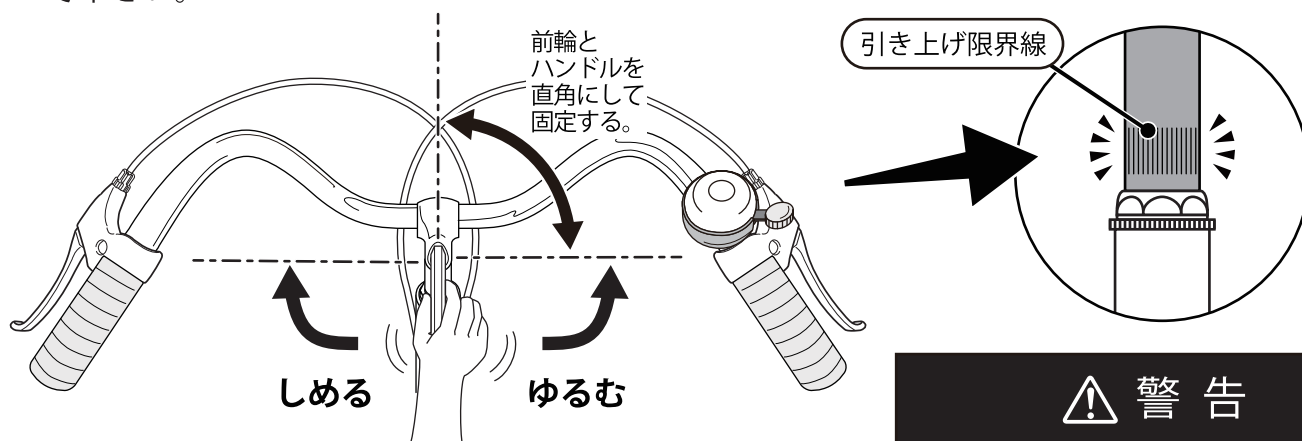
① ハンドル側の保護キャップ、車体側に保護材が付いている場合は、取り外します。



② ハンドルの末端を、車体側のハンドル取付口に差し込みます。



③ ハンドルと前輪を直角になるように合わせて、六角レンチを時計回りに回してハンドルを固定して下さい。



## ⚠ 警告

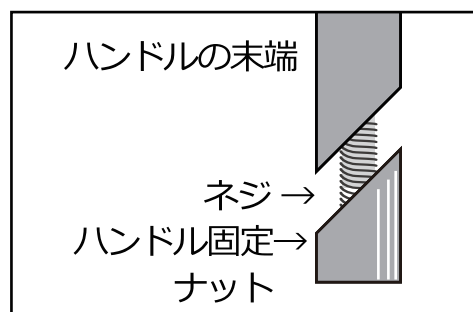
ハンドルポスト及びサドルポストの引き上げ限界線以上に引き上げないで下さい。取付けが不安定になり大変危険です。

## 確認

**ハンドル取り付けレバーをいくら回しても固定されない場合**

ハンドル固定ナットが脱落している可能性があります。

もし脱落していた場合は、ダンボールまたはハンドルポスト挿入口に落ちていないか確認して下さい。ハンドルポスト挿入口にナットがあった場合、ハンドルポストからネジを抜いて挿入口に差し込み、ナットを取り出して下さい。



※ハンドル固定ナットは、別称「うす」とも言います。

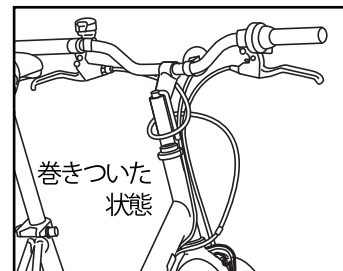
# 乗るまえの準備 (3) 組立手順

**確認** ハンドルが取付けできない、ブレーキが効いたままになるなどの場合。

## ●ブレーキの配線がフレームやハンドルポストにからまっていませんか？

ブレーキ配線がフレーム下やハンドルポストに巻きつくようからまったままハンドルを取り付けてしまうと、ブレーキが効いたままになったり、変速(変速機がある場合)が出来なくなってしまう。(又はハンドルが取付け出来ません)

そのような場合には、配線がからまないようにハンドルと前輪タイヤの向きや回転を調整して適切に取りつけて下さい。



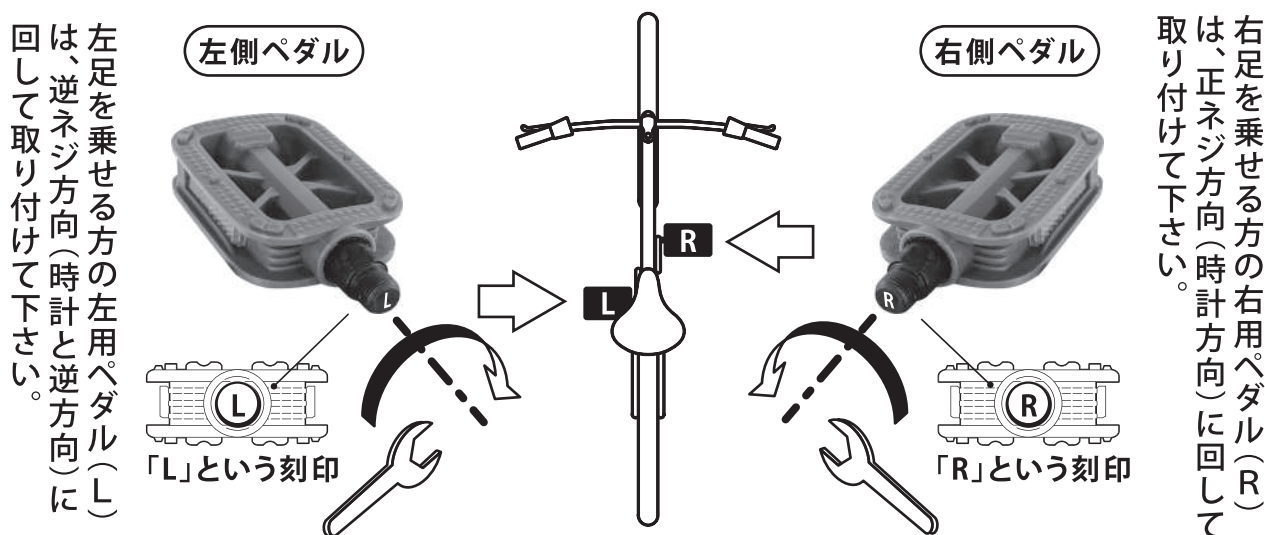
## ●前輪タイヤの前後が逆、又は360度回転していませんか？

前ブレーキの位置を基準にして前輪タイヤの前後が逆、もしくは一回転していないか、確認してください。確認の上、適切な方向に直して取付けなおして下さい。

## ペダルの取付け

※ペダルには、右用(R)、左用(L)がありますのでご注意ください。

- ①ペダルの左右に注意してクランクの取付け穴にペダルを合わせて、手で締められるところまで締めて下さい。左ペダルは反時計回り、右ペダルは時計回りで絞めていきます。
- ②そのあと、スパナを使用して本締めをして下さい。



**確認**

**左ペダル** 反時計回しに締める

**右ペダル** 時計回しに締める

## 警告

- ペダルを取り付ける際は傾げず、真っ直ぐに取付けて下さい。
- ⊘ 誤って傾げて取り付けた場合はネジ山がつぶれ、破損してペダルが脱落してしまいます。
- ペダルの左右をよく確認し左右間違いないか確認して取り付けて下さい。
- ! 逆に取り付けようとすると、ネジが入りません。無理に取り付けた場合はネジ山がつぶれ、取り付けができなくなります。

# 乗るまえの準備（４） 組立手順

## サドルの取付け



**警告**

ハンドルポスト及びサドルポストの引き上げ限界線以上に引き上げないで下さい。  
取付けが不安定になり大変危険です。

- ① サドル固定レバーを約2～3回ゆるめます。（図1）  
※注意：サドル固定レバーを十分にゆるめずに高さ調整を行うとシートポストを傷つけることがあります。
- ② サドルを上下に動かして高さ調整し、サドルを持ってサドル固定レバーを締めつけます。
- ③ サドルを上下左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。
- ④ 締め付け後、サドル固定レバーが邪魔にならない位置になるように収納して下さい。

図1

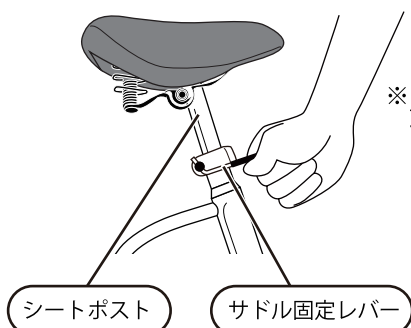
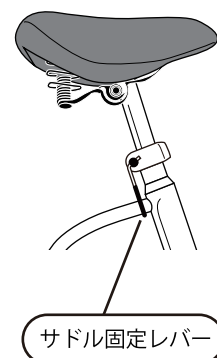


図2



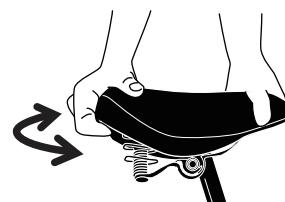
図3



**警告**

- 調整後は必ずがたつきやずれがないか点検をする。

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、  
転倒による怪我のおそれがあります。



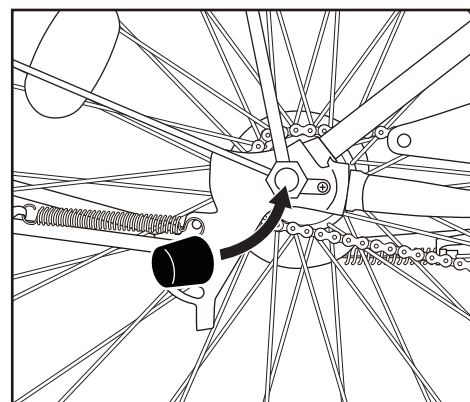
## ハブキャップの取付け

付属部品：ハブキャップ(小) 前輪用×2  
ハブキャップ(中) 後輪用×2



※車種により、キャップ形状が違う場合があります。

- ① 車輪中心部のナットに黒色の付属のキャップを取り付けます。  
外れにくいようにするため、取り付けがきついです。難しい場合は男性の方などをお願いをして、取り付けして下さい。  
前輪・後輪の左右中心にお取付け下さい。

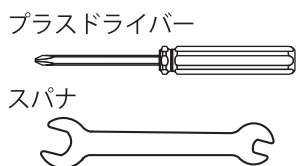


一例：後輪軸ナットにキャップをはめる。（同じように他の三箇所も取り付けして下さい）

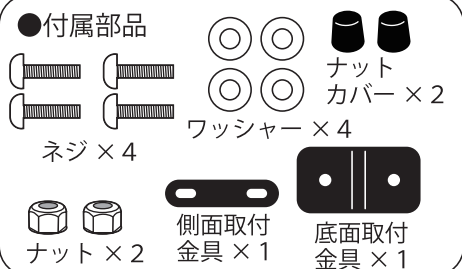
# 乗るまえの準備 (5) 組立手順

## カゴの取付け

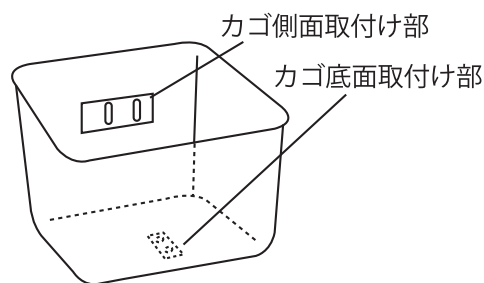
### ●ご用意いただく工具



### ●付属部品



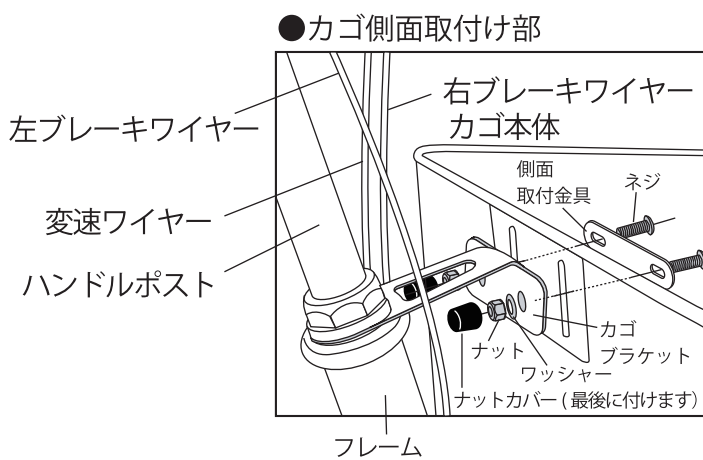
### ●カゴ取付け部全体図



※付属の簡易工具は、仮止め用です。本締めの際には一般工具をご準備下さい。  
※付属部品は、予備で余計に入っている場合があります。

### ① 側面取り付け部をとめる。

ネジを側面取付金具に通し、カゴ側面の取付け穴に内側から差し込みます。  
さらにカゴブラケットの穴にネジを通し、ワッシャーも通します。  
ネジの先端にナットをあて【仮止め】します。  
※ナットはスパナ等で固定をして、ネジを締めてください。ロックナットのため、指の力だけでは固定できません。  
※カゴブラケットは、上向きの場合又は下向きの場合があります。

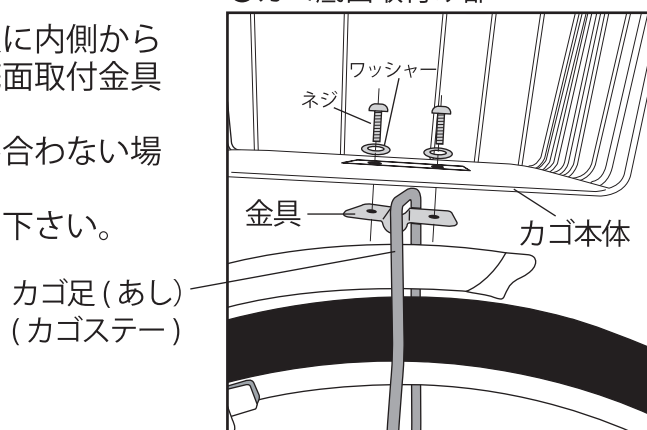


※車種によりワイヤーの取り回しが図と異なる場合があります。ワイヤーに負担のかからないようご注意ください。

### ② 底面取り付け部をとめる。

ネジをワッシャーに通し、カゴ底面取り付け部の穴に内側から差し込み、カゴ足（カゴステー）を間に挟んで、底面取付金具に【仮止め】をします。  
※カゴ足が前後にずれていて、側面部取り付け部が合わない場合があります。  
その場合は、カゴ足を手で力を加えて位置調整して下さい。  
(カゴ足は手の力で前後に動かせます)

### ●カゴ底面取付け部



### ③ 本締めをする。

各ネジを均等に締めながら、本締めをして下さい。  
一つのネジだけを完全に締めてしまうと、他のネジ穴の位置が調整出来なくなり全てのネジが締まらない場合がございます。

### ④ 最後に側面のナットにナットカバーをかぶせて下さい。

## ⚠ 注意

乗車する前に再度ガタ、ゆるみがないか確認をしてください。  
異常を感じた場合は、再度各分の点検をし、締め付け・調整をおこなって下さい。

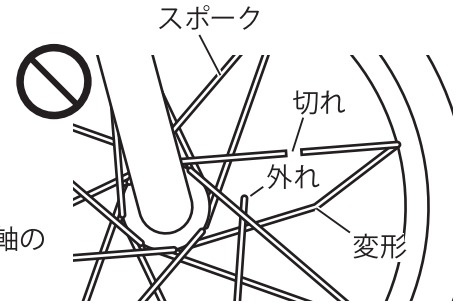
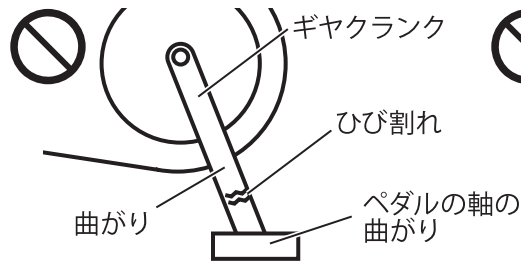
ご不明な点がございましたら、販売店までお問合せ下さい。

# 乗るまえの点検（1）

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

## 警告

### ●各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない



- ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をして下さい。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるようになってす。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前フォークに変形やひび割れなど異常がないか点検して下さい。
- スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換して下さい。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
- ハンドルを締め付けてもガタ・ユルミがあるときは、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検して下さい。

### ●乗るまえの点検は、必ず実施する

- 事故や転倒による怪我のおそれがあります。
- 前後ブレーキの効き、作動の点検して下さい。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検して下さい。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検して下さい。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検して下さい。

### ●点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは乗らない

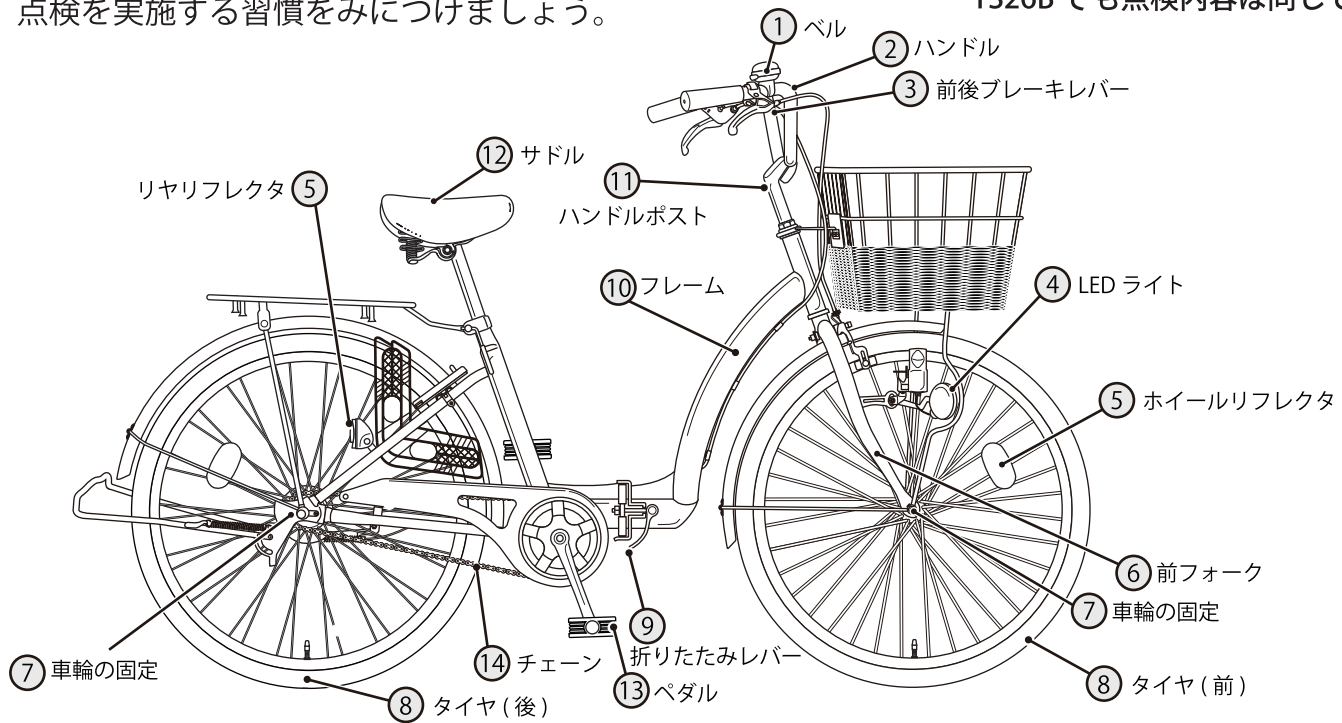
- 事故や転倒による怪我のおそれがあります。
- 異常があったときは販売店にご相談下さい。



# 乗るまえの点検（2）

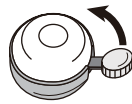
安全に乗車していただくため、乗車前に下記の点検を実施する習慣を身につけましょう。

※イラストはTS26です。  
TS26Bでも点検内容は同じです。



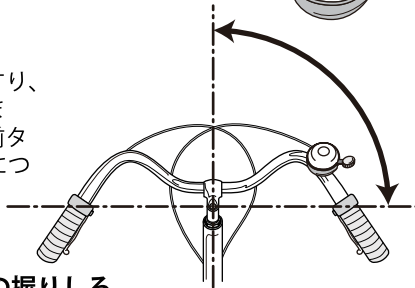
## ①ベルの鳴り具合

ベルのノブを指ではじいてベルが鳴るか点検します。



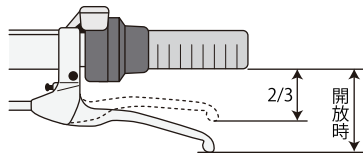
## ②ハンドルのがたつき

ハンドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検しましょう。またハンドルが前タイヤに対し直角（90°）になっているか点検します。



## ③前・後ブレーキレバーの握りしろ

ブレーキレバーが解放時の約2/3の位置でブレーキが効きはじめることを点検します。



## ④LEDライトの点灯

汚れや損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換して下さい。LEDライトが点灯するか点検します。

## ⑤ホイールリフレクタ・リヤリフレクタの汚れ・損傷

汚れや損傷がないか点検します。汚れはふき取り、損傷している場合は交換して下さい。

## ⑥前フォークの変形・損傷

変形や損傷がないか点検します。変形・損傷している場合は乗車をせずに交換して下さい。

## ⑦前後車輪の固定状態

タイヤをゆすり、がたつきがないか点検します。

## ⑧前後タイヤの空気圧・摩耗・損傷

自転車に乗車したとき、タイヤの接地部の長さが約6~8cm(目安)になれば適正です。また摩耗していないかタイヤにくぎなどがささっていないか点検します。空気圧が減少しているとペダルを漕ぐのが重くなり、パンクの原因になります。

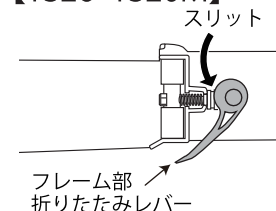
標準空気圧

タイヤ側面に記載

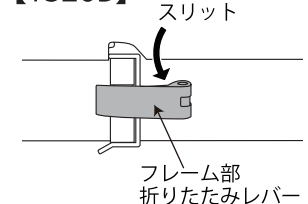
## ⑨折りたたみレバーのがたつき・位置確認

折りたたみレバー部にがたつきがないか確認します。フレーム部の折りたたみレバーの内側が自転車本体のスリットに確実に押し込まれており、レバーがたたまれているか確認します。

【TS26・TS20M】



【TS26B】



## ⑩フレームの変形・損傷

変形や損傷がないか点検します。変形・損傷している場合は乗車をせずに交換して下さい。

## ⑪ハンドルのがたつき

ハンドルと前輪が直角に取付けられているか確認します。ハンドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。

## ⑫サドルのがたつき

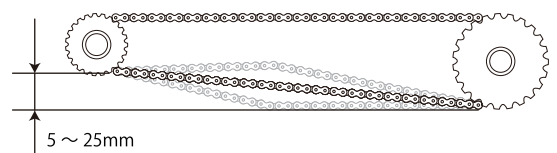
サドルを上下左右にゆすり、がたつきがないか点検します。

## ⑬ペダルのがたつき

ペダルをゆすり、がたつきがないか点検します。

## ⑭チェーンの張り具合

チェーンの中央部を持って上下に動かし、その差が5~25mmあれば適正です。



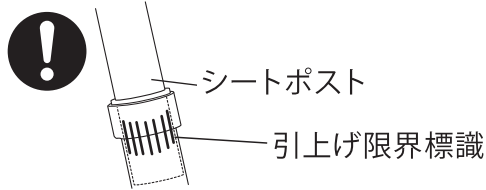
点検で異常があった場合や転倒して異常があった場合は、乗車せずお買い上げ販売店にご相談下さい。

# 乗るまえの調整 (1)

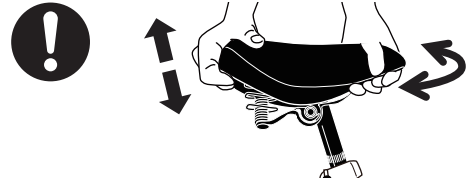
## ●サドルの調整

### 警告

- 引き上げ限界標識が隠れる領域で調整する



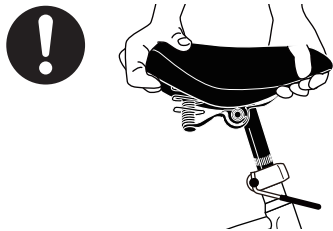
- 調整後は必ずがたつきやずれがないか点検をする



シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

### 注意

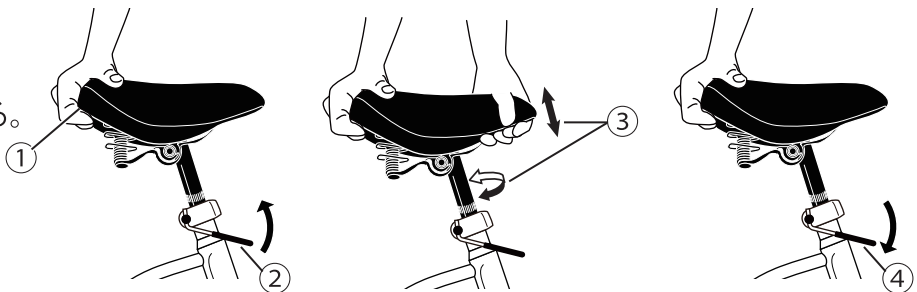
- サドル固定レバーを緩めるときは、サドルを支え持ちながら緩める



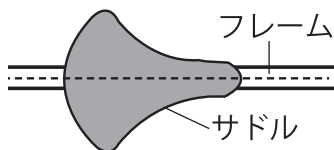
サドルが落下し、手や指をはさむおそれがあります。

- 高さとの調整

- ①サドルを支え持つ。
- ②サドル固定レバーをゆるめる。
- ③サドルの高さと向きを調整する。
- ④サドル固定レバーを締める。



- サドルの正しい方向と角度



お願い

- 角度の調整は販売店にご相談下さい。

フレームと平行に合わせる。 サドルの上面と地面を平行にする。

## 乗るまえの調整（2）

### ●ハンドルの高さ調整

#### ⚠ 警告

- ハンドルの締付を確認せずに乗らない

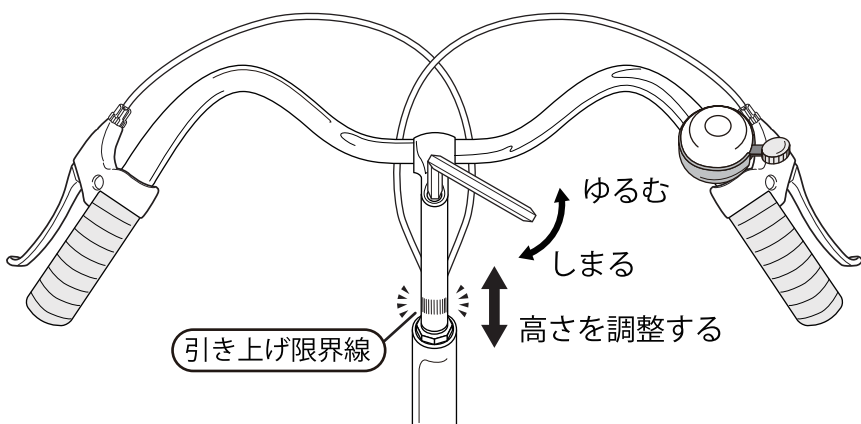
⊘ 走行中ハンドルが折れ曲がり、転倒によるけがのおそれがあります。

- ハンドルポストは必ず締め付けた状態で走行する

⚠ 走行中、ハンドルがゆるみ、転倒によるけがのおそれがあります。

六角レンチを反時計回りに2～3回程度まわしてハンドルを緩めます。

ハンドル自体を上下に動かし、走行に適した高さに調整できたら、ハンドルがしっかりと固定するまで六角レンチで締め直します。



#### ⚠ 警告

ハンドルポスト及びサドルポストの引き上げ限界線以上に引き上げないでください。取付けが不安定になり大変危険です。

### ●ブレーキの調整（お客様にて調整が難しい場合は、自転車整備店に依頼して下さい）

#### ⚠ 警告

- ブレーキレバーの遊びが大きいまや、小さいままで走行しない

⊘ ブレーキが効かない、又は効き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがの原因になります。

- ブレーキが効かない、ブレーキレバーの遊びが不適切なときは、販売店で点検を受けて下さい。

- ロックナットは確実に締め付ける

⚠ ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがの原因になります。

- 音鳴りがしたり、ブレーキの効きが強すぎる場合は使用しない

⊘ 転倒や衝突による怪我の原因になります。

- すぐに販売店で点検を受けて下さい。

#### ⚠ 注意

- 走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

⊘ ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

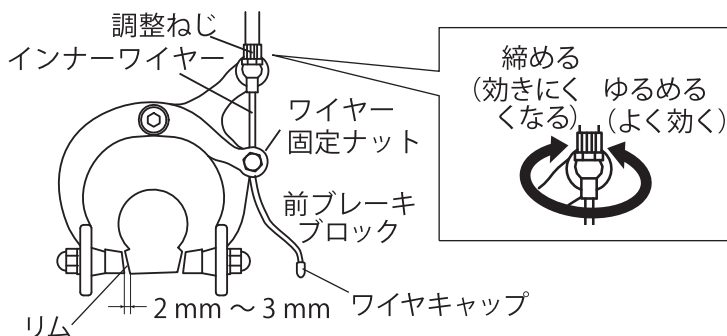
接触禁止

# 乗るまえの調整 (3)

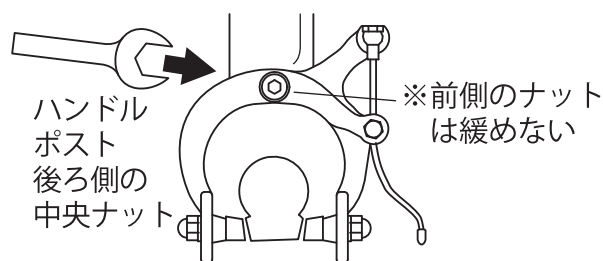
※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。一般の方では調整が難しい部分が御座います。そのため専門知識の無い方は、自転車整備店にご依頼下さい。

## ●前ブレーキ (キャリパーブレーキ)

- ① ブレーキレバーを強く握ってブレーキインナーワイヤーの初期伸ばしをします。ブレーキレバーの遊び幅が多い場合は調整ネジを回してインナーワイヤーのたるみを調整して下さい。微調整で改善しない場合はワイヤー固定ナットを緩め、ワイヤーの固定位置を変えて、ワイヤーの張りを調整して下さい。

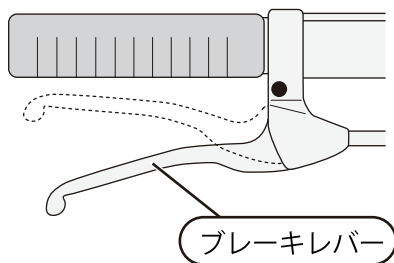


- ② ブレーキが片ぎきの場合はキャリパー本体を固定している支点がズれていますのでハンドルポスト後ろ側の中央部ナットを緩め、左右に動かしてブレーキパッドとトリムの隙間が左右均等になるように調整して下さい。  
【注意】前側の合いナットは緩めないで下さい。

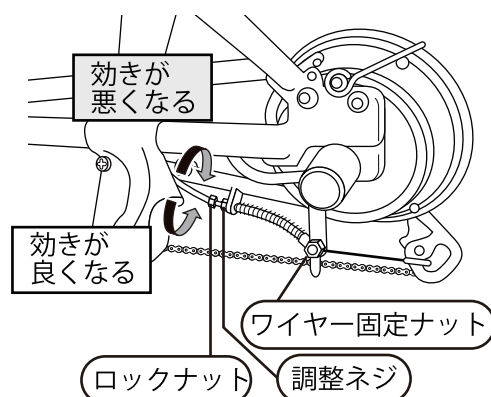


## ●後ブレーキ (バンドブレーキ)

左ブレーキレバーを3回ほど強く握ってワイヤーの初期伸ばしをします。



ロックナットを回してブレーキレバーの遊びが1/3になるようにします。後輪の回転が重い場合はワイヤー固定ナットを緩めてワイヤーの調整をします。



# 乗るまえの調整 (4) TS26Bのみ

## ■変速機 (ディレイラー) の調整

変速が正常に切り替わらない、乗っているとガラガラと異音がある、チェーンが外れてしまうなどの場合、変速機 (ディレイラー) を調整していただけますようお願い申し上げます。

※下記は変速機の調整ねじを使用した応急的な調整方法です。一般の方では調整が難しい部分が御座います。そのため専門知識の無い方は、自転車整備店にご依頼下さい。

### 1. アウター調整ボルト

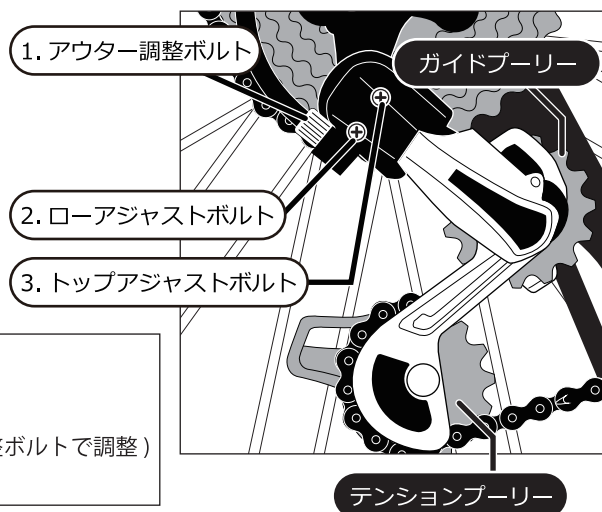
- 右回し (時計回し) 6 速ギア最小ギア) に入り易くなります。
- 左回し (反時計回し) 1 速ギア (最大ギア) に入り易くなります。

### 2. ローアジャストボルト (L のネジ)

ゆるめる方向に回すと、1 速ギアに入りやすくなります。

### 3. トップアジャストボルト (H のネジ)

ゆるめる方向に回すと、6 速ギアに入りやすくなります。



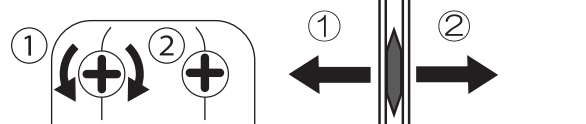
#### ●変速機の調整 (一例)

1. アウター調整ボルトで微調整
2. 6 速にしてプーリーの垂直をあわせる (トップアジャストボルトで調整)
3. 5 速にして空回しをし、異音が無いか確認。異音がある場合はアウター調整ボルトで調整)
4. 1 速にしてプーリーの垂直をあわせる (ローアジャストボルトで調整)

#### ●ローギア側の調整

変速機を操作してディレイラーが 1 速ギア (最大ギア) に合わせます。

L のネジをプラスドライバーで回して、ガイドプーリーの中心とローギアの中心が一直線に並ぶように調整して下さい。



#### ●トップギア側の調整

変速機を操作してディレイラーが 6 速ギア (最小ギア) に合わせます。

H のネジをプラスドライバーで回して、ガイドプーリーの中心とトップギアの外側が一直線に並ぶように調整して下さい。



調整の際は、1/4 回転程まわしながら、少しずつ調整をおこなって下さい。

調整方法	症状	調整方法
	大きいギアに入りにくい (2 速 → 1 速、3 速 → 2 速など)	ローアジャストボルトを反時計回しに回す
	小さいギアに入りにくい (5 速 → 6 速、4 速 → 3 速など)	トップアジャストボルトを反時計回しに回す
	ギアの外側 (トップ側) にチェーンが落ちる、外れる	トップアジャストボルトを時計回しに回す
	ギアの内側 (ロー側) にチェーンが落ちる、外れる	ローアジャストボルトを時計回しに回す
	各ギアでガラガラと音鳴りがする	アウター調整ボルトを右または左に回す

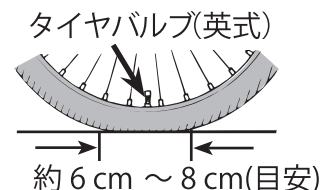
※調整ネジで調整しきれない場合はディレイラーをトップギアにして調整ボルトを締め込み、再度変速ワイヤーの張り直しをして下さい。変速機の調整は経験に左右される事が多いので何度かやってみるのが良いです。

# 乗るまえの調整（5）

## ●空気圧の調整（前後のタイヤ）

### ●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約6 cm～8 cm 程度が適正です。圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。適正空気圧はタイヤ側面に記載されていますので、確認して下さい。



### ご注意

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。

### お知らせ

●空気圧は自然に減ります。

●タイヤバルブの型式は、英式です。

●空気の入れ方 自転車用のポンプを使って空気を入れます。

## ●タイヤについて

### お願い

！ お届け時は、タイヤとチューブの保護・傷み防止のため、空気が少なくなっている場合があります。必ず適正な空気を入れてからお乗り下さい。

●ストーブなどの熱源の近くに置かないで下さい。

●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取って下さい。

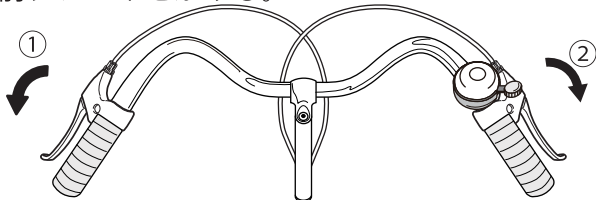
●走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷させる原因になります。

●タイヤの空気圧が不十分な状態で使用しないで下さい。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

# 正しい取扱い方法（1）

## ●ブレーキのかけかた

- ① 後ブレーキを先にかけてから
- ② 前ブレーキをかける。



### お願い

●急な坂道の場合は、降りて押して下さい。

●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がすぎないように走行して下さい。

●下り坂の手前ではブレーキテストを行って下さい。

●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意して下さい。

## 警告

- 雨天時や下り坂ではスピードを出さない
- ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

## ●前カゴの取扱い

## 注意

●前カゴは、最大積載量3 kg以下で使用すること。

●不安定でバランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

●当社純正オプションバスケットを装着して下さい。

# 正しい取扱い方法（2）

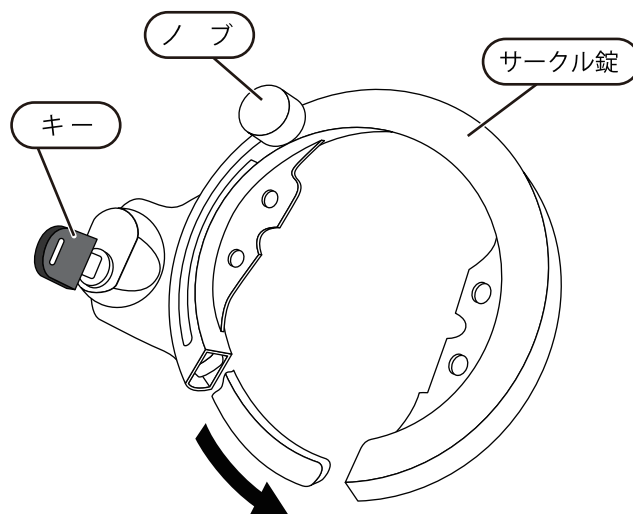
## ●サークル錠の取扱い

### 鍵のかけかた

- ①ノブを矢印（反時計方向）に約90°「カチッ」という音がするまで回転させてロックします。
- ②キーを抜きます。

### ロックの解除

- キーを差し込み、時計方向に回してロックを解除します。  
※ロック解除時に指をはさまないように気を付けて下さい。



## ●LEDライト・ダイナモの取扱い

### ⚠ 注意

- 起倒レバーの操作は、停止した状態で手で行って下さい。

走行中や足での操作は、大変危険ですのでしないで下さい。

- ⊘ 自転車がふらついたり、足がタイヤに巻き込まれるなどして、けがや転倒によるけがのおそれがあります。

- ダイナモの中心がタイヤの中心垂直線上に位置しているか確認して下さい。（図1参照）  
中心垂直線上に位置していない場合は、調整をして下さい。

- ⊘ ダイナモがタイヤに巻き込まれるなどして、車体の破損や転倒によるけがのおそれがあります。

- ①起倒レバーを押すことで、ライトが点灯します。
- ②起倒レバーを引くことで、ライトが消灯します。

- 起倒レバーを押して、ダイナモ駆動（ライト点灯）状態。  
※ローラーの中心がタイヤに接触しているか確認して下さい。

図1

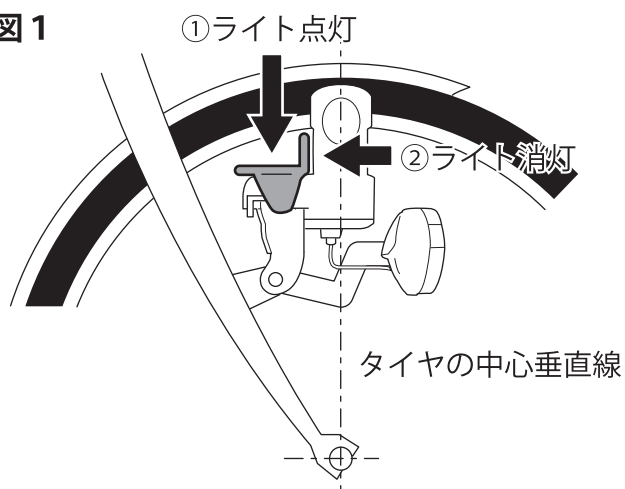
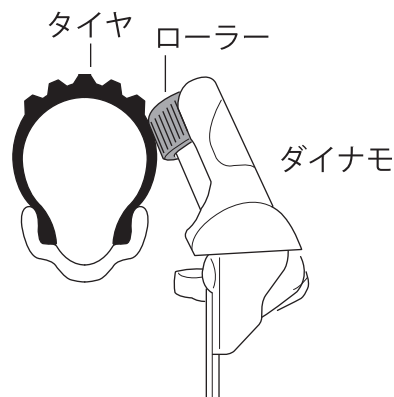


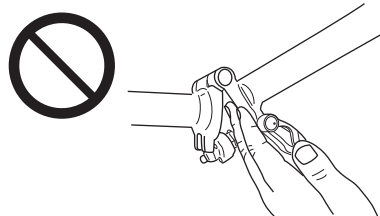
図2



# 折りたたみ手順①

## 警告

●メインパイプのジョイント部分を持って開閉しない  
指や手をはさんで怪我をするおそれがあります。



① 折りたたみレバーを起こします。

【TS26・TS20M】



【TS26B】



② 折りたたみレバーをスリットから外します。  
※この時、レバー軸が車体フレームに対して垂直になる様にしてください。





## 折りたたみ手順②

③ 折りたたみレバーを真上に持ち上げながら車体を折りたたんでください。



この位置にロックが付いています。レバーを真上に上げることでロックが外れて折りたたみできるようになっています。

### 確認

必要に応じて、前輪と後輪をヒモなどでしばると、収納しやすくなります。  
ハンドルを取り外すと、ブレーキや変速機の効き具合が悪くなる場合がありますので、頻繁に外さないようにして下さい。

# お手入れ／注油について

## お手入れ

- 日常のお手入れは、
  - 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落として下さい。
  - がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用下さい。
- 汚れがひどいとき  
水洗いし乾燥させた後、各部に注油して下さい。  
注油禁止場所には注油しないで下さい。
- 塗装部（フレームなど）  
乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取って下さい。
- めっき部（ハブなど）  
乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」で拭き余分な油をふき取って下さい。
- 樹脂部（ペダルなど）  
乾いた布でほこりをとって下さい。
- 湿気が多い所や海岸沿いは、  
さびやすいので、お手入れの回数を、多くして下さい。



## お願い

- シンナー等の有機溶剤は、使用しないで下さい。
- サドルには、ワックスをかけないで下さい。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります）

## 注油について

### 警告

- リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない。  
ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。



# 定期点検

## 定期点検

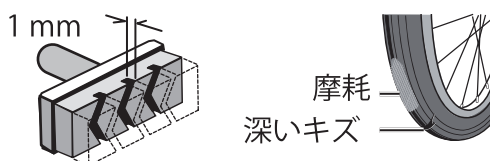
### 警告

#### ●定期点検は、必ず実施する

！ 異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

#### ●部品の交換は、次の基準で実施する

- ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても2年に1回は、交換する。
- タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
- ブレーキブロックは、溝の残りが、1mmになる前に交換する。
- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。

いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2ヵ月目）点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

#### ●初回（2ヵ月目）の点検と整備

お買い求め2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。

必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技師・自転車組立整備士、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受け下さい。

#### ●2回目以降（6ヵ月毎）の点検と整備

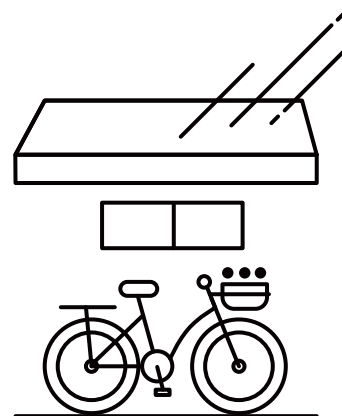
安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受け下さい。

#### ●保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管して下さい。

雨が降るところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。

※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用下さい。



#### ●廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従って下さい。

※梱包ダンボール・梱包材につきましても、地域のルールに従って捨てて下さい。

# 防犯登録について

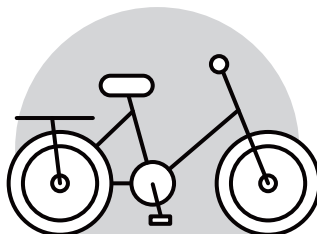
防犯登録をご希望の方はお近くの「防犯登録加盟店」にて手続きができます。  
(お住まいの近くの自転車販売店、ホームセンターなど)

自転車を利用するためには、法律「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律第12条第3項」により「自転車防犯登録」が義務付けられています。「自転車防犯登録」を行っていないと、盗難にあった際に盗難被害届けを出すことができず諦めるしかないということがありますので、早めに「自転車防犯登録」を行うことをお勧めします。

## 防犯登録を受ける際、必要となる物

### 販売証明書

販売証明書	
品名	自転車
販売店名	〇〇自転車店
販売店住所	〒113-8507 東京都文京区〇〇
販売店電話番号	〇〇-〇〇-〇〇〇〇
販売店代表者	〇〇〇〇 〇〇〇
販売店代表者住所	東京都文京区〇〇
販売店代表者電話番号	〇〇-〇〇-〇〇〇〇
販売店代表者印鑑	〇〇〇〇 〇〇〇



自転車本体



氏名・住所などが確認できるもの

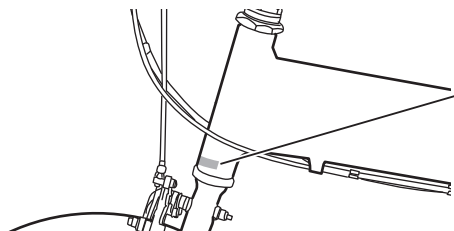


印鑑

- ネットショップでのご購入の場合は、ご購入店舗にご連絡いただき「販売証明書」発行のご依頼をしてください。商品には「販売証明書」は付属していません。
- フレーム No. の刻印の位置は下記の車体番号の位置をご参照下さい。
- メーカー、及び販売店ではフレーム No.(車体番号)の管理はしておりません。必ずご自身で確認の上、大切に保管して下さい。

その他、防犯登録についてご不明な点がございましたら最寄の各都道府県の防犯登録協会自転車商協同組にお尋ね下さい。

- 車体番号位置** ハンドルポスト下に車体番号が刻印されています。



- 車体番号** (刻印位置)

防犯登録に必要で、数字と英字で表示しています。

# こんな時は・・・

●次のような症状が出た場合は各項目を点検して見て下さい。

症 状	チェック項目	参考ページ
ブレーキのききが悪い。異音。ブレーキパッドがリムに接触している。車輪の回転が重い。	ハンドル組立時にブレーキワイヤーや変速機ワイヤーが絡まった状態になっていないかご確認下さい。 ブレーキを調整してみてください。	P.11 P.18
ペダル付近から異音がする。	ペダル取付部を増し締めして下さい。	P.11
車輪からカタカタ音がする。	ブレーキワイヤーがスポークに当たっていないか確認して下さい。当たっていれば、ワイヤーを手で曲げて、当たらないように調整して下さい。	—
ハンドルが固定できない。	ハンドル固定ナットがフレーム内部に落ちていないかご確認下さい。	P.10
ペダルが取付できない。	左ペダルは逆ネジになりますのでネジ山の向きをご確認下さい。	P.11
フレームジョイント部が固定できない。	固定レバーの反対にある六角ナットで調整をし締め付けの強さを調整してみてください。	P.9
カゴ取付ネジが硬い。	緩み防止の為、樹脂が混入してありますので初期段階では固い場合があります。工具を使用してナットを固定しながら、ドライバーでネジを締めて下さい。	P.13
開封時に黒いプラスチックの部品が割れている。	運送時破損防止の保護材ですので、本体にキズ等なければ破棄して下さい。	—
付属のキャップの取付場所がわからない。	ハブナットのキャップになりますので車輪軸のナットにつけて下さい。	P.12
ライトが点かない。	起倒レバーを押して、ダイナモローラーがタイヤ側面に当たっているかご確認下さい。当たっていない場合は、取付位置を調整して下さい。	P.21
【TS26Bのみ】 ギア変速時にチェーンからガラガラと異音が生じて変速がうまくいかない。もしくは変速時にチェーンが脱落する。	該当ページを参照に、変速機の調整をおこなってください。専門的な知識も必要なため、難しい方は、最寄りの自転車整備店にて調整をご依頼下さい。	P.19

# 購入情報メモ



故障や万が一の盗難などにあった場合、必要な情報になりますので、ご購入後は必ず記載して下さい。

## ■ご注文情報

項目	内容
ご購入店舗	
ご購入年月日	年 月 日
ご注文様お名前	
ご利用者様お名前	
ご注文番号	

## ■自転車の情報

項目	内容
製品名	
製品型番	
カラー	
<b>車体番号</b> ※重要な情報です	

## ■メンテナンス履歴

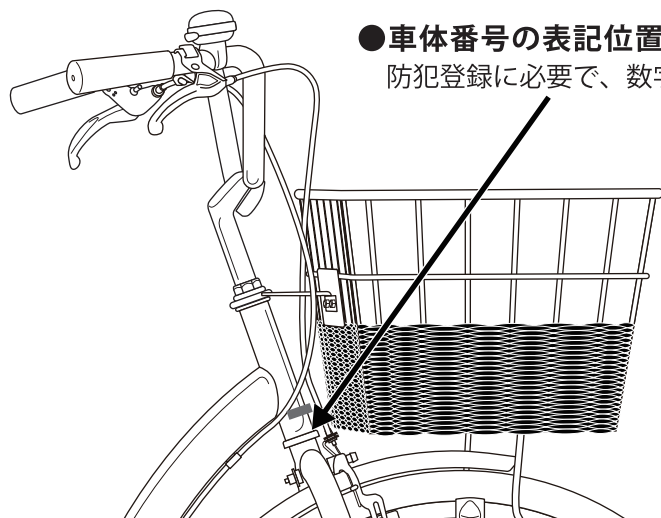
年 月 日	内容
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	



# AIJYU CYCLE

## 車体番号保管のお願い

### 車体番号の位置



#### ● 車体番号の表記位置

防犯登録に必要で、数字と英字で表記されています。



車体番号は販売店及びメーカーでは記録していません。必ずお客様にてお控えください。

防犯登録や盗難にあった場合、車体番号が必要になってきます。自転車をご使用される前に必ず取扱説明書の27ページにある「購入情報メモ」に記載の上、保管ください。

修理・取扱いなどは、お買い上げの販売店にてご相談頂けますよう、お願い致します。

株式会社アイジュ